



時間の使い方

校長

「草木も眠る、うしみつ時」と言えば怪談話です。

江戸時代までは、一日の時刻を、子・丑・寅・卯の十二支で表していました。「子の刻」は午前0時を中心とする2時間なので、「丑の刻」は午前1時から午前3時までを言います。更に、一の刻(いっとき)を30分刻みで4等分するので「丑三つ時」は午前2時から2時30分までを言います。

時間を表す最小単位が30分であり、通常単位が2時間であることを考えると、現代に比べると時間の流れはゆっくりとしていたことでしょう。一つの仕事を考える単位が2時間ですから、午前中に一つ、午後から一つくらいのイメージでしょうか。バイオリズムやレム・ノンレムの睡眠周期などを考えると、2時間単位というのは理にかなっているように思います。

さて、小・中学校は、子どもたちを自立させることを念頭に、様々な教育活動を展開しています。私が小・中学生だった頃よりも学習内容が増えていますので、現代の学校は「無駄なこと」に費やす時間はとれません。5分刻みでのスケジュール調整が当たり前になっています。

子どもにとっても、大人にとっても、学校は忙しさに溢れています。

あえて「無駄なこと」と書きましたが、「効率」の対極にある「無駄」こそが、人生では実は大切なのではないかと、私は考えています。「無駄」ではなく、人間らしく生活する上での「ゆとり」と言うべきでしょうか。

効率を追求するのは機械やコンピュータに任せ、家族との時間や一人の時間を大切に過ごせる社会。子どもたちが家族に愛され、安心感と充足感を感じられる社会が私たちの目指すべき方向なのだろうと思っています。

学校も時間と気持ちの余裕がもてるようにしていくべきでしょう。

今の時期、学校では「次年度のカリキュラムをどうするか」という会議を何度も設けています。視点は、①授業時間をきちんと確保しつつ、給食の時間や休み時間もしっかり確保すること、②学習効果を損なうことなく、教員が子どもと向き合える時間を確保すること、③子どもたちがワクワクできる行事をつくること、です。

大人数での生活ですから、様々な制約が必要なのは仕方ありませんが、学校が子どもたちにとって、安心して過ごせる場所、ワクワクできる場所、になるよう時間の使い方から見直していきたいと考えています。



2年生と1年生の異学年交流
「まちたんけん発表」

お知らせとお願い

「大谷グローブ」が届きました!

本校にも、全国で話題になっている「大谷グローブ」が届きました。

学校では1月16日に全校児童に体育館でお披露目会を行いました。体育主任がグローブを披露すると「おおー」と歓声が上がりました。

このお披露目会の後、学級ごとにグローブを使用する機会を設けています。体育の時間などで全員が使うことができるようにしていきます。

この機会に、お子さんとスポーツの楽しさなどについて、ぜひ話していただければと思います。



冬休み前の全校集会



12月22日(金)に冬休み前の全校集会が行われました。

生徒指導担当者から、冬休みの安全な過ごし方について話をしました。

校長からは、「純粋な水は電気を通さない。塩も電気を通さない。でも、塩水なら・・・電気を通す。×と×を○に変えられる人になってください」と話がありました。

冬休み期間が終わり、こどもたちの元気な笑顔が学校に戻ってきています。

ちばっこ学びの未来デザインシートを実施しました



12月末に学年ごと(対象:3~6年生)に、日程を設定し、千葉県の事業である「ちばっこ学びの未来デザインシート」を実施しました。これはタブレットを使用し、教科等横断的な視点で作成した問題(デザインシート)を活用することで、学習指導要領に示された、学習の基盤となる資質・能力としての「問題発見・解決能力」が育成されているかを調査測定する試みです。

この結果については、県教委の指示のもと後日詳細をお知らせします。

PTA ソフトバレーボール大会



12月2日(土)には、保護者と教職員でソフトバレーボール大会を行いました。

保護者と教職員が同じチームでバレーボールの試合に臨み、さらに団結が高まりました。役員の皆様、準備等ありがとうございました。

ホームページでも、学校だよりを御覧いただけます。

<http://www.edu.city.asahi.chiba.jp/es-asahichuou/ichiran/index.html>